

アジア・オセアニア重要サンゴ礁ネットワーク構築事業費
71百万円(49百万円)

自然環境局自然環境計画課

1. 事業の概要

- (1) 我が国は、これまで「国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)」の事務局の実施(平成17年7月から19年6月まで)、東アジア海・ミクロネシア地域サンゴ礁保護区データベースの作成等、アジア・オセアニア地域の中心国として、国際的なサンゴ礁の保全を推進。
- (2) 近年、生物多様性条約等の国際会議において海洋保護区のネットワーク化の重要性が指摘されており、関係国が協力して一層の努力をすることが必要。
- (3) このため、引き続きアジア・オセアニアサンゴ礁保護区データベースを構築し、関係各国との合意の下、2012年目標に対応するためのアジア・オセアニア重要サンゴ礁ネットワーク戦略を作成する。また、平成19年4月に東京で開催されたICRI総会において表明した「国際サンゴ礁保護区ネットワーク会議」を開催する。
- (4) また、ICRIにおいて、平成20年(2008年)を国際サンゴ礁年とし、各国で普及啓発活動を推進することを決定したことから、サンゴ礁の価値及び危機的状況、多様な主体の取組等を広く国民に周知するため普及活動等を行う。

2. 事業計画

- (1) 国際サンゴ礁年における普及啓発等の取組(20年度)
- (2) 「国際サンゴ礁保護区ネットワーク会議」の開催及びICRIアジア・オセアニア地域会合の開催(20年度～)
- (3) アジア・オセアニアサンゴ礁保護区データベース構築(19～22年度)
- (4) アジア・オセアニア重要サンゴ礁ネットワーク戦略作成(20～22年度)

3. 施策の効果

- (1) 国際サンゴ礁年において国内のサンゴ礁に対する関心及び理解を促進するとともに、国際会議を開催することにより世界のサンゴ礁保全をリードする。
- (2) アジア・オセアニア地域のサンゴ礁保護区のデータベースの構築、アジア・オセアニア重要サンゴ礁ネットワーク戦略の作成により、2012年目標に向けた取り組みが推進され、また、当該地域のサンゴ礁保全が促進される。
また、これらの成果について生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)において発信する。

4. 備考

調査費 71,300千円

(内訳)

国際サンゴ礁年2008におけるサンゴ礁についての普及啓発	27,550千円
国際サンゴ礁保護区ネットワーク会議(IRPANC)の開催	12,757千円
アジア・オセアニアサンゴ礁保護区データベースの構築	30,993千円

アジア・オセアニア重要サンゴ礁ネットワーク構築事業

背景

- サンゴ礁は様々な価値を有する生態系であるが、世界的に劣化
 - 生物多様性保全上の価値、防波的役割、地域経済上の価値(漁業資源、観光資源)
 - 高水温による白化、オニヒトデの大発生等により世界的に劣化
- サンゴ礁保全分野での日本の貢献は国際的に高く評価
 - 日本はサンゴ礁を有する数少ない先進国の一つであり、国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)の発足当時(平成6年)から積極的に推進。平成17年7月から19年6月まではICRI事務局を務めた。
 - ICRIの中での役割分担として、アジア・太平洋については日本が中心的に牽引(欧州がアフリカ・インド洋、米国がカリブ海地域)
- 海洋保護区ネットワークに関する国際的目標
 - 持続可能な開発に関する世界首脳会議(WSSD)(2002年)において「代表的海洋保護区ネットワークを2012年までに構築すること」が実施計画として採択。生物多様性条約(CBD)第8回締約国会議(2006年)において、「世界の海洋及び沿岸域の少なくとも10%が効果的に保全されるべき」との数値目標を含む決議が採択。
 - 平成19年4月ICRI総会(東京)においては、データベース等を活用し、まだ保護されていない重要な箇所を補足しながら、サンゴ礁保護区のネットワークを形成していく旨の決議が採択
- 国際サンゴ礁年
 - 平成18年10月のICRI総会(メキシコ)において、平成20年を「国際サンゴ礁年」として、世界各国で、サンゴ礁に関する普及啓発活動を大規模に展開することが決定。
 - 日本でも、企業、NGO等を含めた多様な関係者からなる国際サンゴ礁年推進委員会を設置し、準備を実施。

事業内容

(1) 国際サンゴ礁年 (H20)

シンポジウムの開催やパンフレット及びポスター等の広報資料の作成により、国内における意識向上を図る。

(2) 国際サンゴ礁保護 区ネットワーク会議 (H20)

各国の有識者や行政官等の参加を得て、サンゴ礁保護区ネットワーク構築の方針の合意を図る。

(3) アジア・オセアニアサンゴ礁保護区データ ベース(H19~22)

- 各国の既存の保護区に関する情報収集
- 衛星写真を活用し、サンゴ礁の状況を把握
- サンゴの幼生の移動等も考慮した重要サンゴ礁の抽出
- 重要であるが、保護区になっていないサンゴ礁や、保護区に指定されているが管理が不十分なサンゴ礁を抽出